

信明  
所表

## 施政方針

## 町長就任から4カ月が経ち

昨年12月の町長就任から約4カ月が経過しました。就任当初は町長と呼ばれることになかなか慣れない部分もありましたが、皆さまからのアドバイスや助言などを受けながら、町長としての立ち位置をしっかりと定め、腰を据えて業務に取り組んでいるところでです。

さて、世界ではロシアのウクライナ侵攻により、さまざまな分野において波紋を呼んでおります。国際秩序を乱し、何の罪もないウクライナの人々や子どもたちが巻き込まれていることに憤りを感じています。

今回ロシアが行った一連の行為は、国際秩序を乱すものであり、国際法的にも人道的にも決して許されることではありません。平和的な解決を望むとともに、ウクライナの人々の安心し

た生活が一日でも早く取り戻せることを強く願います。

## 忘れてはならない震災の記憶

日本国内においては、私たちが忘れてはならない出来事である東日本大震災から11年目を迎えました。11年という月日の中で、未だ復興途中の方が存在することを私たちは決して忘れてはなりません。改めて心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

多くの犠牲者を生み、人々の生活を大きく変えてしまった未曾有の災害。それ以降、国を挙げて防災意識が高まりました。さまざまな角度から災害への対応が検討され、今では国や自治体の主要施策の一つとなっております。

当町においても、東日本大震災をはじめとした過去の経験をもとに、地域防災計画の策定、

非常用電源や備蓄品の確保など、有事に備えているところです。

## コロナ禍の収束に向けて

昨年も新型コロナウイルスに翻弄された1年となり、現在も感染者数や病床稼働率ともに高い水準が続いております。当町においても、3月23日現在の累計感染者数が218人に達してしまいました。

そのような中、3回目のワクチン接種も順調に進み、先月末からは接種対象を5、11歳まで拡大して行われています。この他にも、3月1日から町独自の対策として自宅療養者への食料品支援事業も開始しました。

今後もし引き続き対策を講じながら、町民の皆さまの命と生活を守るとともに、コロナ後に向けた社会経済活動をどのように戻していくかについても協議し、後押ししていくことが責務

であると認識しております。

## 将来を見据えたインフラ整備

令和4年度は、芝山町の新たなまちづくりの根幹となる大切な時期であると考えています。成田空港の更なる機能強化に合わせた拠点整備や、移転代替地に係るインフラ整備を中心とした施策を展開し、持続可能で自立したまちづくりを目指して町政運営を行います。

特にインフラ整備においては、空港機能強化に伴う移転代替地を含めた町内3地区の住宅拠点整備を進めてまいります。現在、川津場地区の住宅系拠点整備は、令和6年後半の分譲開始を目標に官民連携による拠点整備事業という位置付けで、計画が進行しています。

小池地区の拠点整備においては、土地区画整理事業として進めており、公共交通の結節点と



芝山町長 麻生 孝之

3月議会定例会の開会初日である3月8日。冒頭のあいさつに立った麻生町長は、令和4年度に向けた所信を表明しました。

して、バスターミナルや公園の設置、商業施設の誘致など町の中心拠点として捉え、計画に取り組んでまいります。

千代田地区の拠点整備については、空港隣接地の特性を踏まえて空港会社等と協議を行い、小池地区と同様に、土地区画整理事業に向けた地権者への説明会や調査業務などを引き続き実施します。さらに、移転代替地の整備も、空港会社と連携を密にし、移転される方々が不安にならないよう進めてまいります。

また、水道事業についても、事業認可取得に向けた作業が進行しております。新たな条例の設置など簡易水道事業に向けて着々と進捗しているほか、拠点整備に関わる汚水処理整備計画も準備が進められています。

いずれにしても、今年度は次の段階を想定し、騒音移転の方々の受け皿として小池地区の拠点整備に力を入れて進める必要があると考えております。

### 町を取り巻くさまざまな課題

道路整備につきまして、小池地区の拠点整備に関連する小学校前の道路は、町の重要路線として位置付けており、一定の予

算配分をいたしました。この他に成田空港の更なる機能強化に伴う機能補償道路である高谷川沿いの道路などは、引き続き測量や調査、設計業務を行います。

また、町民の皆さまからの要望の多い、竜ヶ塚地先の道路改良やはにわ台団地へつながる道路の歩道整備も、課題を整理しながら、一つ一つ進めているところです。

道路とともに要望の多い町の公共交通についても、地域公共交通活性化協議会を設置し、都市計画マスタープランを踏まえた施策を町の公共交通の適正化に向けて進めていきたいと考えております。可能な限り皆さまの要望に沿った形で応えられよう、努力してまいります。

子育て支援策としては、老朽化した保育所における子どもたちの安全を最優先に考慮し、検討委員会を立ち上げます。統合や改築など、保育所のあり方も含めた方向を示してまいります。保育士などの確保についても、全庁を挙げて取り組み、待機児童が出ないよう、最善の努力をいたします。

さらに、子育て支援センターと連携して、より一層の子育て

支援に取り組むほか、出産祝金制度も第1子から支給対象となるよう拡大し、10万円を支給します。

農業振興策では、廃プラスチックの処理について関係機関と協議し、さらなる農家負担の軽減に努めます。農業の相談窓口の設置についても、関係部署と協議しながら機構改革の一環として取り組んでまいります。

### 事業を進めるための制度設計

このようなさまざまな施策を進めていく上で、私が今一番重要だと感じているのは、役場の体制や事業に対する制度設計です。これだけの大きな施策を確実に進めていくには、しっかりととした仕組みを構築しなければなりません。

私が掲げた公約でもありません、教育と子育ての一体化やワンストップサービスなどを実現させるためにも、今年度あるいは来年度も視野に入れた中で機構改革を行わなければならないと考えております。事務事業と所管部署のあり方を含め、整合性を取りながら整理・検討いたします。

また、町の情報発信において

も、役場庁舎内で情報戦略会議を設置し、災害情報をはじめ町の施策や出来事など、芝山町の魅力を外部に発信していく体制を新たに構築してまいります。これにより、芝山町の良いところを多くの方に知ってもらい、将来的な人口増加にも役立てたいと考えております。

さらに、人材を確保し、職員が働きやすい環境を作ることもこれからのまちづくりに欠かせません。芝山町で働いてまちづくりをしてみたいと思ってもらえる役場環境をこれからも目指してまいります。

### 新たなまちづくりへの決意

コロナ禍でもあり社会情勢が不安定な中、騒音問題をはじめ多種多様な問題や課題が山積しておりますが、今年度は新たなまちづくりが本格的にスタートします。

10年後の町の将来をしっかりと見据えながら、町民福祉の観点に立ち、確かな一歩を着実に進んでまいります。

町民の皆さまにおかれましては、今後も引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。